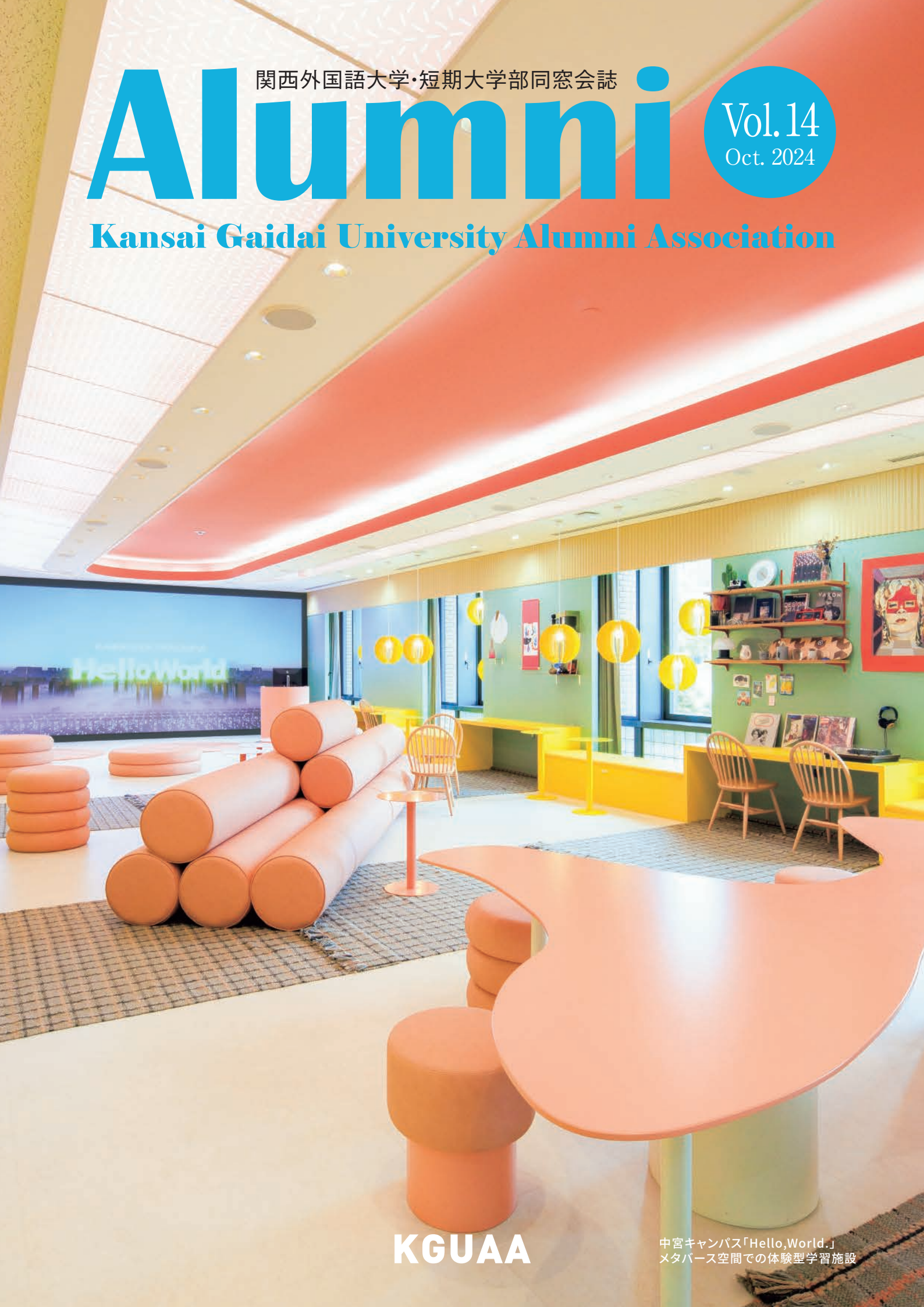


関西外国語大学・短期大学部同窓会誌

Alumni

Vol.14
Oct. 2024

Kansai Gaidai University Alumni Association



KGUAA

中宮キャンパス「Hello,World.」
メタバース空間での体験型学習施設

名誉会長挨拶



関西外国語大学
理事長・総長
関西外国語大学・短期大学部同窓会
名誉会長

谷本 榮子

同窓会会報誌「Alumni」第14号の発行をお祝い申し上げます。また、同窓会の皆様には、日頃より、大学への協力や学生への支援を賜り、心より感謝いたします。

少子化による18歳人口の減少は予想を超える速度で進んでおり、大学を取り巻く環境は年々厳しさを増しております。こうした中、関西外国語大学は学部・学科の再編を進め、オール外大で教育改革に取り組んでいるところでございます。

昨年の国際共生学部と外国語学部英語・デジタルコミュニケーション学科の新設に続き、今年は外国語学部国際日本学科を、短期大学部に未来キャリア英語学科を設置しました。さらに、来年には英語国際学部「アジア共創学科」を設置する予定です。これにより、大学は4学部8学科1コース、短期大学部は2学科の体制が整います。

本学の卒業生は20万人を超える規模になりました。国内だけでなく海外にまで張り巡らされた同窓会のネットワークは、本学にとり、心強い存在です。来年の創立80周年に向け、同窓会との絆をいっそう強め、大学の成長に結びつけられればと期待しております。

同窓会のますますの発展を祈念いたしますとともに、母校へのさらなるご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

Eiko Tanimoto

President of the Board of Trustees, Chancellor, Kansai Gaidai University
Honorary Chair, Kansai Gaidai University Alumni Association

I would like to congratulate you on the publication of the 14th issue of the Alumni Association's newsletter, Alumni. I also wish to express my sincere gratitude to you for your ongoing cooperation with the university and support for our students.

The population of 18-year-olds is declining at a much faster pace than expected due to the declining birthrate, creating an extremely challenging environment for university education. To counter this, Kansai Gaidai has raised an "All Gaidai" goal to pursue educational reform by reorganizing its faculties and departments.

Following the establishment of the College of Global Engagement and the School of English and Digital Communication in the College of Foreign Studies last year, this spring we established the School of Japan Studies and Global Communication in the College of Foreign Studies and the Division of International Future Career in the Junior College. Furthermore, establishment plans next year for the School of Japan and Asian Studies in the College of Global Communication and Language are in progress. With these additions, the university will have a total of four faculties, eight departments, and one course in the university and two departments in the Junior College.

The number of graduates who have received degrees from our university now exceeds 200,000, and the domestic and international network of alumni is a reassuring presence for us. As we approach our 80th anniversary next year, I hope that we can further strengthen our ties with the alumni association and link them to the further growth of the university.

I congratulate you on the continued growth of the Alumni Association and look forward to your continued cooperation and encouragement.

会長挨拶



関西外国語大学・短期大学部同窓会
会長

藤木 英幸

皆様が卒業された関西外国語大学は、戦後間もない1945年に谷本昇・多加子ご夫婦が、戦後の日本の未来には英語教育が絶対に必要だという信念から、私財を投じられて谷本英学院を創立したところからスタートします。来年2025年には創立80周年を迎え、すでに卒業生の数は20万人を超えるという輝かしい発展を遂げてきました。

今では関西のみならず全国にも、また海外にも関西外大の知名度が高まり、大いに評価される大学として現在に至っております。

これまでの発展は、創立者の信念に基づいて歴代の総長・理事長をはじめ教職員一丸となって努力されてきた結果であり、我々卒業生にとっては大きな誇りであると共に、感謝の念に堪えません。

一方で、日本を取り巻く少子高齢化の波は予想を上回るスピードで押し寄せており、学生の募集を停止した大学や短期大学、定員割れの大学が日本の各地に多数存在するのが現実です。これまで素晴らしい発展を遂げてきた私たちの関西外大にとっても、この厳しい環境は同じです。このような状況

の中、同窓会は関西外国語大学及び短期大学部の現状を皆様にお伝えすると共に、卒業生同士の懇親を深め、更には母校への恩返しを活動の目的として運営していく所存です。ご同窓の皆様におかれましては、母校への関心を持ち続けていただき、同窓会活動に積極的にご参加いただくことによって、同窓会も母校とともに発展することを願っております。

最後になりましたが、同窓生の皆様のご健勝、ご多幸を祈願いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

Hideyuki Fujiki Chair

Kansai Gaidai University Alumni Association (KGUAA)

The history of our alma mater, Kansai Gaidai (University and Junior College), began in 1945 shortly after the end of World War II when Noboru and Takako Tanimoto used their personal funds to establish the Tanimoto Eigakuin (Tanimoto English Academy) based on their beliefs that English education was imperative for the future of postwar Japan. Fast forwarding to next year, in 2025, Kansai Gaidai will celebrate its 80th anniversary, and today boasts a brilliant achievement of having more than 200,000 graduates.

Today, Kansai Gaidai is known throughout Japan as well as internationally as being a highly regarded academic institution. This development to date is the result of the concerted efforts of past and present presidents, chancellors, and faculty members based on the beliefs of the founders.

Having said that, the reality in Japan is that the wave of an aging society along with a declining birthrate is approaching us at a much faster pace than expected. Various universities and junior colleges in many parts of Japan have fallen below capacity and have stopped accepting students. This reality is affecting Kansai Gaidai as well, regardless of its admirable developmental achievements. Under these circumstances, the Kansai Gaidai University Alumni Association (KGUAA) is committed to keeping you abreast of the university's current situation, while expanding solidarity among alumni, and giving back to our alma mater. We hope that you will continue to take interest in our alma mater and actively engage in KGUAA events, so that we can flourish together with the university.

Finally, I would like to conclude my greetings by wishing all alumni good health and happiness.

第7期事業計画

～ Starting the Next Chapter ～

2023年10月
2025年9月

第7期事業計画においては、第6期事業計画を引き継ぎ、『オール関西外大』の理念のもと、大学および短期大学部（関西外大ハワイ校を含む）同窓生の横断的な絆の深化を図るとともに、同窓会、母校、現役生とが一体感をもった強固で柔軟かつ持続的な組織の構築をめざす。

また、同窓会設立の原点に回帰した事業方針の一貫性と継続性を堅持しつつ、コロナ禍からの再出発をめざして第6期事業計画での未達成の施策を継続するとともに、同窓会の内外環境の様々な変化に対応することのできる新規事業を事業計画に落とし込みながら、実効性のある施策を実施することとする。

1. 同窓会組織の充実

- (1) 短期大学部卒業生の同窓会活動への参加推進
- (2) 同窓会への登録推進
- (3) 支部設立の支援
- (4) ホームカミングデーへの参加推進
- (5) 同窓生の連帯強化策の深耕
- (6) 支部活動充実のための支援
- (7) 本部・支部役員候補の発掘と継続的な組織運営の構築

2. 情報発信の強化

- (1) 情報発信機能 [会報誌Alumni・ホームページ・ソーシャルメディア(SNS)]の有効活用
- (2) ホームページアクセス数・ソーシャルメディア(SNS)のフォロワー数の増加

3. 現役生への支援活動の多様化

- (1) 修学への経済的支援
- (2) クラブ活動への支援
- (3) 就職支援活動の多様化

4. 母校との連携強化

母校の関係部署との連携を強化し母校の発展・充実に最大限の効果をもたらす

役員紹介

名誉会長	Honorary Chair	谷本 榮子	Eiko Tanimoto	関西外国語大学 理事長・総長
名誉副会長	Honorary Vice Chair	大庭 幸男	Yukio Oba	関西外国語大学 学長
名誉副会長	Honorary Vice Chair	谷本 和子	Kazuko Tanimoto	関西外国語大学短期大学部 学長

第7期同窓会本部役員（2023年10月1日～2025年9月30日）

会 長	Chair	藤木 英幸	Hideyuki Fujiki	外国語学部 (Foreign Studies)	1983年卒
副 会 長	Vice Chair	高橋 一彦	Kazuhiko Takahashi	外国語学部 (Foreign Studies)	1980年卒
副 会 長	Vice Chair	有本 昌剛	Masatake Arimoto	外国語学部 (Foreign Studies)	1981年卒
副 会 長	Vice Chair	横川 一敏※	Kazutoshi Yokogawa	外国語学部 (Foreign Studies)	1983年卒
副 会 長	Vice Chair	松田 裕子	Yuko Matsuda	外国語学部 (Foreign Studies)	1986年卒
副 会 長	Vice Chair	井端 義人	Yoshihito Ibata	外国語学部 (Foreign Studies)	1986年卒
副 会 長	Vice Chair	前田 英樹	Hideki Maeda	外国語学部 (Foreign Studies)	1992年卒
幹 事 長	Secretary General	稲増 哲	Satoshi Inamasu	外国語学部 (Foreign Studies)	1986年卒
会 計 監 査	Auditor	牧志 里美	Satomi Makishi	外国語学部 (Foreign Studies)	1986年卒
会 計 監 査	Auditor	松田 賀宏	Yoshihiro Matsuda	外国語学部 (Foreign Studies)	1986年卒

※新任：2024年4月1日より

2023年度 収支決算書

自 2022年10月1日 至 2023年9月30日

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	予算比	備考
1 繰越金	159,481,137	159,481,137	0	
収入の部				
2 同窓会費	31,000,000	29,790,000	△ 1,210,000	2023年3月・8月卒業生入会費
3 寄付金	1,500,000	433,260	△ 1,066,740	ホームカミングデー寄付金箱 72,260円 寄付金口座入金 361,000円
4 同窓会懇親会費	1,300,000	1,231,000	△ 69,000	ホームカミングデー 支部総会
5 受取利息	10,000	303	△ 9,697	普通預金
6 雑収入	0	0	0	
7 預り金収入	30,000	24,421	△ 5,579	源泉徴収
8 収入合計	33,840,000	31,478,984	△ 2,361,016	
9 収入の部合計	193,321,137	190,960,121	△ 2,361,016	
支出の部				
10 行事費	2,200,000	1,689,661	△ 510,339	ホームカミングデー
11 奨学金・協賛費	11,600,000	11,850,000	250,000	同窓会奨学金 生活困窮学生食料支援 課外活動等支援奨励金
12 支部補助金	4,950,000	4,419,123	△ 530,877	支部年間補助金 支部総会等
13 外注費	1,600,000	1,620,315	20,315	ホームページ管理費 会員データ管理費等
14 出版・印刷費	3,060,000	2,896,465	△ 163,535	会報誌制作費等
15 会議費	10,000	2,062	△ 7,938	
16 旅費・交通費	600,000	650,155	50,155	事務局職員通勤費 役員交通費(支部総会出席)等
17 通信運搬費	4,610,000	4,484,654	△ 125,346	会報誌郵送費 電話代等
18 人件費	2,620,000	2,487,961	△ 132,039	事務局職員給与等
19 雑費	160,000	174,342	14,342	バスボーツ募金 事務用品費、消耗品費等
20 予備費	1,000,000	0	△ 1,000,000	
21 預り金支出	30,000	25,821	△ 4,179	源泉徴収
22 支出合計	32,440,000	30,300,559	△ 2,139,441	
23 次期繰越金	160,881,137	160,659,562	△ 221,575	
24 支出の部合計	193,321,137	190,960,121	△ 2,361,016	

次期繰越金内訳

大口定期預金 (三井住友銀行枚方支店)	120,000,000
普通預金 (三井住友銀行枚方支店)	40,543,513
現金	116,049
合計	160,659,562

2023年度同窓会奨学金採用者数

所属	採用者数	合計
大学	26人	30人
短大	4人	

2023年度課外活動等支援奨励金授与者数

区分	大会の規模	人数	成績
個人	全国規模	7人	2位5人、6位2人
個人	世界規模	3人	2位2人、3位1人
団体	全国規模	2団体	5位1団体、8位1団体

Homecoming Day

2023年度ホームカミングデー・同窓会総会を開催しました

2023年度ホームカミングデー・同窓会総会が10月28日、中宮キャンパスで開かれ、約200人が参加しました。

同窓会総会は午前11時からマルチメディアホールで開かれました。谷本榮子理事長はあいさつで、同窓会の大学運営に対する協力に謝意を示すとともに、本学の近況や学部・学科の新設を通じた教育改革の取り組みを紹介し、2025年の創立80周年に向け、「大学を取り巻く環境は厳しいが、同窓会と手を携え、節目の年を祝いたい」と述べました。また、アメリカ大リーグで活躍しているダルビッシュ有投手の母で本学卒業生のダルビッシュ郁代さんが参加していることを紹介しました。

事業報告、決算・予算報告が承認された後、母校の現状報告として、大学を紹介する動画が放映されました。続いて、短期大学部英米語学科を卒業したジャズボーカリスト川鯨(かわばた) 祐子さんが歌声を披露しました。

総会に続いて、懇親会が厚生南館食堂で開催されました。久しぶりに再会した同窓生たちは、食事をともにしながら、近況を報告したり、学生時代を懐かしんだりしながら旧交を温めていました。



マルチメディアホールで開かれた同窓会総会



歌声を披露した
ジャズボーカリスト
川鯨祐子さん

支部だより

関東支部



関西外国語大学・短期大学部 第10回 関東地区同窓会 2023年12月3日(日)

関東支部は、諸先輩方の多大なるご尽力により、2013年10月、同窓会最初の支部として設立され、昨年10月、設立10周年を迎えました。関東支部では、毎年、春と夏に懇親会を開催し、卒業生の皆様に懇親を深めていただいています。また、秋には、年間の最大イベント「関東地区同窓会（関東支部総会・懇親会）」を開催し、卒業生同士の懇親を深めていただくほか、現役学生と卒業生が交流できる場も提供させていただいています。

今後も引き続き、卒業生と大学との懸け橋として、母校の発展に寄与するため、また同窓生の皆様のお役に立てるよう、イベント企画の多様化も含め、様々な活動に取り組んでまいります。皆様と一体になって関東の同窓会を盛り上げて行きたいと考えていますので、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。関東支部では、関東支部のeメールアドレスを公開し、皆様からのご意見、ご要望、ご提案等を受け付けています。お気軽にお声をお聞かせください。宛先: kanto@kansagaikai-dousou.jp

関西支部

関西支部では、大学のお膝元・関西で親しみやすく参加しやすい、身近なイベントを年に数回開催しております。懐かしいご友人とのご歓談や新たな出会いを通じ、交流の輪を広げていただくことを目的にしており、参加された同窓生の皆様には、毎回ご好評いただいております。

2021年にコロナ禍の下でイベントとして開始した『オンライン講演会』は、現在は年3-4回、定例的に開催しております。毎回各方面でご活躍の同窓生を講師にお迎えし、本会報誌が発行される頃には『第12回』を開催する予定です。

2024年度の『第5回 卒業生Reunion』は、5月25日(土)に大阪市中央公会堂にて開催し、1971年から2018年までの卒業生約60名にご参集いただきました。

関西支部では、今後も他支部、大学と連携しながら、同窓生の皆様に喜んでいただけるような企画を行ってまいります。より多くの同窓生が積極的に同窓会活動に参加いただけるように、様々な情報を発信し、卒業生同士に加え、現役学生との交流など、同窓会全体の活性化に繋がたいと考えます。今後も同窓生の皆様の和を広げる場となる機会と場所の提供に取り組んでまいりますので、皆様のご支援、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



第9回 オンライン講演会



第5回 関西外大 卒業生 Reunion

中部支部

2024年中部支部では、設立10周年となる記念総会・懇親会を7月28日(日)に総勢40人の方をお迎えし、名古屋市内のホテルにて開催しました。2014年10月設立以来、10年にわたる中部支部の活動をスライドで紹介し、同窓生であるキンタロー。さんからのサプライズメッセージを披露するなど、10周年に相応しい懇親会となりました。今年の3月には「SAKURA PARTY」、5月には「第17回ゴルフコンペ」を開催するなど、積極的に企画・活動を行っています。現在は11月10(日)開催のゴルフコンペや来年のイベントに向けて、支部役員一同で準備を進めています。



SAKURA PARTY 2024年3月30日開催



中部支部設立10周年記念総会・懇親会

詳細は、同窓会HPやSNS等でお知らせする予定です。次の20年目に向けて中部支部では、現役学生への支援にも取り組んでいきたいと考えていますので、同窓生の皆さまには、引き続きご理解、ご協力をお願いいたします。

北陸支部



関西外国語大学・短期大学部同窓会 北陸支部設立総会

北陸支部は、昨年7月に設立総会・祝賀会を開催し、産声をあげたばかりで、元日に発生した能登半島地震の影響により、しばらく活動休止を余儀なくされていましたが、役員改正を行い、4月の新体制での役員会を皮切りに、月1回のペースで役員会を開催し、今後の北陸支部の活動についての協議を重ねてきました。

その結果、今年度については、9月29日に総会を開催することといたしました。また、昨年の設立総会にて石川県の馳知事から提案のあった「関西外大と石川県との連携協定」について、来年度早々にも協定を締結すべく、北陸支部として具体的な準備を進めることとしております。

支部としてはまだ若く、規模も小さいながら、北陸支部らしい特色ある活動を目指していきたいと考えており、今後とも皆様からのご協力の程よろしくお願いいたします。

九州支部

2020年6月コロナ禍の下での発足、数回延期の後の2022年9月の設立総会・懇親会を経て、2023年度は11月に熊本市で、2024年度は5月に福岡市で定期総会・懇親会を実施しました。いずれも大学および同窓会本部より来賓のご出席を賜り、地元の会員との楽しい憩いの場となりました。特に遠方からお越しの方々におかれましては、九州の郷土料理をご堪能いただけたようで、九州支部の役員一同ほっと安堵しました。

九州支部は今年度より森田新支部長の下、新役員体制になりました。定期総会・懇親会の案内は、日程等が決まり次第ホームページにアップしますので、「食と温泉の宝庫」九州へ是非お越しください。引き続き九州支部の活動にご理解・ご協力よろしくお願いいたします。



2023年度定期総会・懇親会 熊本市にて



2024年度定期総会・懇親会 福岡市にて

マレーシア支部



春の懇親会



新年会

今期の活動実績として、2023年9月にマレーシア支部総会を開催し、11月には第21回大学OB対抗ゴルフ大会に参加しました（結果は10位/20校）。また、2024年1月に新年会、4月に京産大と九州連合との3校対抗ゴルフ大会、5月には春の懇親会を実施し、同月には第22回インカレ（大学OB対抗）ゴルフ大会にも参加しました（結果は10位/22校）。これらのイベントを通じて、支部会員家族も交えた交流やゴルフでの他校との繋がりを広げました。

さらに、新たな取組みとして、日系情報誌「パノラ」(OGが勤務)でOBOG募集を行い、新会員の発掘に成功しました。

今後の予定は、9月マレーシア支部総会を開催、11月に第23回インカレゴルフ参加です。今年は、中心的存在だった村上さん、小原さんのお二人が帰任、異動されました。海外では「去る者もいれば来る者もいる」が常で、新たに石川さん、稲津さんが同窓会支部に入会いただきました。まだまだ世界で活躍するOBOGがいっぱいいる筈ですので、引き続き、情報発信を続け新会員を募ります。国内の同窓会の皆さまからも、是非、在マレーシア卒業生の情報をご提供ください。

上海支部

現在活動を休止しております。

海外で活躍している同窓生



Rizal Commercial Banking Corporation(RCBC)
Director & Member of Executive Committee

中塚 裕己
NAKATSUKA HIROKI

1992年 外国語学部 英米語学科卒業

外大を卒業して早32年が経ち、旧住友銀行(現三井住友銀行)に入社し、インドネシア大学への留学や近畿大学で客員教授として2年間講義をさせて貰ったり、シンガポール、フィリピン、インドネシアで計19年の海外勤務を経験し、現在は三井住友銀行が20%出資しているフィリピン民間5位の金融機関であるRCBCに取締役及び経営会議メンバーとして派遣されています。

外大を卒業して良かったことは、留学時代に色々な人と交流出来たことによりグローバル感覚を習得出来たことやESSの部長時代にクラブ活動の転換時に改革を実施した経験は新しいことにチャレンジする際に非常に役立っており、ESSで学んだこと(5分前集合ルール、組織の在り方、組織活動等)は社会に出て有効的であったことを実感しています。

マニラ支店長時代はフィリピン日本商工会議所の推薦理事はじめフィリピン銀行協会の役員やアジアで一番歴史あるマニラロータリークラブに入会をさせて貰った関係で現地のコミュニティはじめ主要閣僚メンバー等とも親交を深めることが出来たのも良い思い出です。

今後ですが、三井住友銀行が掲げるマルチフランチャイズ戦略(アジアの国々と共に成長)を遂行することにより、フィリピンの経済発展に貢献し、皆んなが幸せになる社会創出に貢献、また後継の人達に自身が学んだ価値観を共有出来ればと思います。

フィリピンにお越しの際は是非ご連絡下さい。



Attorney at Law
Law Office of Arthur Kawahara

川原 孝
ARTHUR KAWAHARA

2000年 外国語学部 英米語学科卒業

現在、ロサンゼルスで弁護士オフィスを構え、アメリカ移民法に関する様々な問題に対応、特に、グリーンカード取得やビザ申請などの手続き業務を行なっています。留学や就労の相談も受けています。

在学中は英語教師を目指し、オレゴン州Pacific Universityに留学後、California State University, Los AngelesのGraduate Schoolで教育学を学びました。アメリカでは私が「外国人」、アメリカ移民法は自分の生活に関わることとして興味がありました。移民弁護士への相談を通じて弁護士の道に興味を持ち、その弁護士のオフィスで経験を積みました。Concord Law Schoolに進学後、カリフォルニア州で弁護士資格を取得、事務所を設立しました。

大学時代ESSで学んだ論理的な説明や情報整理、リサーチ、プレゼンテーションのスキルが、Graduate SchoolとLaw School在籍中も大きな力となり、現在の仕事にも大いに役立っています。ESSでの多くの人の交流が「人に対して物怖じしない」自信を育んでくれました。今後も多くの人のネットワークを広げていこうと思っています。

私生活では、大の野球ファン、MLB全球団の球場での観戦も目標としています。一方で、CPA (Certified Public Accountant)の受験資格の取得や、理系分野の勉強も考えています。アップル創始者スティーブ・ジョブズ氏の「何がどこでつながるかわからない」という言葉にとっても共感し、今後も経験を活かして、色々なことに挑戦を続ければ人生楽しいのではと思っています。私に何かできることがありましたら、お気軽にご連絡下さい。



三井住友銀行からRCBCに取締役及び経営会議メンバーとして派遣されています。



Concord Law School Graduation



Dodger Stadium

★輝く同窓生★



映像翻訳者/世界ワーカー
林 かな 氏
1991年 外国語学部
スペイン語学科 卒業



京セラ株式会社
床呂 沙紀 氏
2017年 国際言語学部
国際コミュニケーション学科
卒業

「輝く同窓生」
URL

<https://www.kansai-gaidai-dousou.jp/alumnus>



恩師リレーエッセイ

英語国際学部 教授 **James Webb**

I first came to Kansai Gaidai University in April 1986, so I have worked here for over 38 years, on three different campuses - Katahoko, Hotani, and Gotenyama - and have taught over 10,000 students. These 38 years have been a very interesting time in which many things have changed at Kansai Gaidai and in Japan, and also many things have not changed. These are some things which have changed since I first came to Kansai Gaidai: in 1986, smartphones and the internet did not exist, and very few people owned a computer. There were no computers in the university's offices. Many students (especially boys) and teachers smoked cigarettes on campus, and there were ashtrays outside every classroom. Almost all students had black hair. The summers were cooler than they are now, and some classrooms did not have air conditioning. Once a week, I had to teach in the Junior College building, which had no air conditioning.

However, many things have not changed since I first came to Kansai Gaidai in 1986. Throughout my time at Kansai Gaidai, most of my students have been friendly and hard-working, and they say they want to learn English, but speaking it is difficult for them. The Japanese government has been trying to improve English education for at least 40 years, but the number of Japanese people who can speak English fluently is still very low. Also, throughout my time at Kansai Gaidai, most of my students have had amazingly hard schedules because of lessons, part-time jobs, long commutes, homework, club activities, etc., and most students do not get enough sleep (in my opinion). Many students say they feel tired a lot of the time, or all the time. Lastly, most of my students know very little about the world outside of Japan.

Fortunately, I have been able to teach classes in which students can learn something about the world, and also think about things which they have probably never thought about before. For example, I used to teach courses called Area Studies (Britain) and Area Studies (Europe), in which I gave lectures about modern Britain and Europe. I also taught a seminar called Environmental Awareness in which students learned about environmental problems such as global warming, destruction of forests, etc. Furthermore, I have taught courses called Critical Thinking and Strategic Debate, in which I ask students to think about and discuss topics such as "This campus should have a McDonalds", "People should fly less", "People should eat less meat", "You need to have a lot of money in order to be happy", "Japan should accept more refugees", "Smartphones should be banned in high schools", etc. One of the most enjoyable aspects of my job is getting students to think about topics such as these and express their opinions about them. If a student disagrees with me, I am happy. The most important thing is that students think deeply and carefully about these topics, and they do not respond like a robot or someone who has been brainwashed.

Lastly, I would like to say "Thank you" to everyone who took my lessons, and who have helped me have an interesting, happy, and fulfilling life at Kansai Gaidai for over 38 years. Thank you so much.



クラブ
OB・OGだより

ダイハツ工業陸上競技部 **西出 優月さん**

2022年 英語国際学部卒業、元女子駅伝部主将



西出さんは現在、ダイハツ工業の陸上競技部で3000メートル障害、5000メートル、駅伝をメインに活動しています。在学中は女子駅伝部に所属してチームをけん引しました。2028年の米・ロサンゼルス五輪への出場を目指し、日々トレーニングに取り組む西出さんが外大時代を振り返りながら後輩にエールを贈りました。

「女子駅伝部は、自主性を大切にするチームでした。自分のコンディションや控えているレースを考慮して自分自身で練習メニューを調節します。自分と向き合い、自分で考え、行動することは、競技以外のどの場面でも必要とされます。そのような力を身につけることができました」

「外大で精一杯に勉強したいとの思いから一般学生に交じって勉強しました。毎日授業とクラブで隙間のないスケジュールでした。一般学生と差がつかないようにと、授業や課題に全力で取り組みました。競技も勉学も手を抜かず全力で取り組んできた4年間は、常に慌ただしかったです。その分、自己成長へとつながれたと思います。今の自分には無くてはならないものになりました」

「勉学との両立は、難しいかもしれませんが、その時の自分のベストを尽くし続けてください。全力で取り組むからこそ感じられる楽しさが必ずあります。人との出会いを大切にしながら、全力で何事にも取り組んでください」



母校の今

Kansai Gaidai Now

学部・学科のご紹介

2025.04 新設

英語国際学部

アジア共創学科

アジアの文化・社会・ビジネスに
精通したグローバルリーダーへ。

英語、およびアジア言語の運用能力の修得とともに、グローバルアジアのありよう、アジアの文化・社会・ビジネスについての深い知識と教養を身に付けます。アジアの多様な人々と協働しつつ、アジアを起点として世界の持続的発展に貢献できるグローバル人材の育成をめざします。

LANGUAGES

英語 × 韓国語
ベトナム語
タイ語
中国語

実用的な英語力と韓国語などアジア言語の運用能力を身に付けます。アジアからの留学生とともに学ぶことで、多文化共生型の教育を実現し、実践的な言語運用能力を基にしたグローバルな対話能力を養うことをめざします。

FIELD OF STUDY

経済学 国際関係論
経営学 地政学
マーケティング など

アジアの多様な言語、文化、社会、歴史、国際関係、経済・ビジネスに関する深い知識と教養を身に付ける専門科目があります。実践的な授業スタイルを取り入れ、グローバル社会全体の現状理解やサステナビリティについて学びます。

STUDY ABROAD

語学留学[1学期間]
韓国 タイ
ベトナム 中国

2年次で、希望者はアジア諸国(韓国・ベトナム・タイなどを予定)に1学期間留学。アジアの多様な文化・社会環境に身を置き、実践的・経験的にアジアをより深く理解しながら、未来の共創に貢献できる資質を養います。

学部・学科一覧

		入学定員	学びの特徴			入学定員	学びの特徴
国際共生学部	国際共生学科	70人 [海外から30人]	4年間、All Englishで学ぶ環境 - グローバルチャレンジ留学など、世界に広がる学びと体験の場を提供 - Experiential Learningを通して実践力を養成	外国語学部	スペイン語学科	250人 [20人]	- 充実のスペイン語教育と英語教育で、2言語のマスターが可能 - 高度なスペイン語を修得できる外国人教員によるPIE プログラム - スペイン語圏の協定大学で1年間、現地学生とともに学ぶ
	英語キャリア学科	120人	- 英語と社会科学(経済学・経営学など)を融合した先進的なカリキュラム 3年次に1年間の「専門留学」へ(原則全員が対象) - グローバル・ビジネスなどの5つの分野から専門分野を選択し複合的に研究		英語国際学科	500人 [75人]	- 国際ビジネスで不可欠な英語と中国語の運用能力を身に付ける - 産学連携による課題解決型授業で国際ビジネスの即戦力となるスキルを養成 - 希望者は1学期間、「中国語留学」または「英語留学」に参加
英語キャリア学部	英語キャリア学科 小学校教員コース	50人	- 小学校教育に必要な全教科・領域の実践的な指導力を養成 - 語学力や国際感覚を磨ける充実した国際教育環境 - 小学校でのボランティアなどで、実際の教育現場を豊富に体験	英語国際学部	アジア共創学科 2025年4月開設	200人	- 英語に加えて韓国語などアジア言語の運用能力を身に付ける - アジアからの留学生とともに学ぶ「多文化共生型」の教育体制を実現 - 韓国、ベトナム、タイなどで1学期間の語学留学を経験
	英米語学科	730人 [200人]	- 海外協定大学と協働開発したSuper IESプログラムで英語を徹底的に鍛える - 欧米を中心とした国際文化・社会・言語について専門知識を深める 1週間から最長3年間の多彩な留学プログラム		英米語学科	500人	2年の短期間で確かな英語運用能力を身に付ける - 短期大学部に特化した独自の留学プログラム 4年制大学への編入学希望者のための特別講義や特別演習が充実
外国語学部	英語・デジタルコミュニケーション学科	200人	- 徹底した少人数教育のもと、高度な英語運用能力を身に付ける - 英語とデジタル(ITスキル)を駆使した次代のコミュニケーションを学ぶ 1週間から最長3年間の多彩な留学プログラム	短期大学部	未来キャリア英語学科	100人	- 実用的な英語コミュニケーション能力と、高い情報リテラシースキルを修得 - 企業と連携した授業を通し、社会で必要とされる力を実践的に学ぶ - 即戦力としてアピールできる幅広い進路に対応した資格取得をめざす
	国際日本学科	200人	- 徹底した少人数教育のもと、高度な英語運用能力を身に付ける - 古代から現代までの幅広い日本文化・社会・言語について専門知識を深める 1週間から最長3年間の多彩な留学プログラム				

[]:3年次編入学定員

(2025年4月予定)

国際交流

関西外大が留学に強い3つの理由

01 専門分野と教養を学べる留学が充実

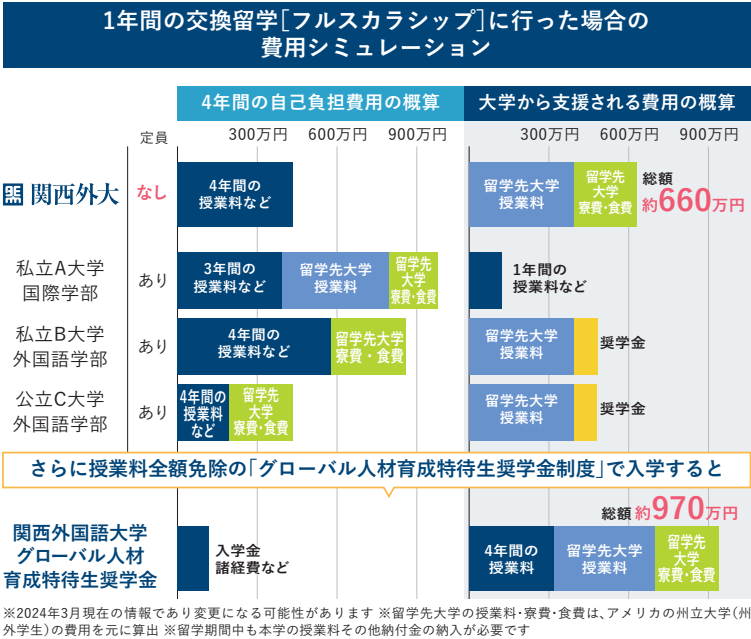
留学の目的は、「語学」だけではなくその先の「専門分野」の修得
現地の学生とともに学士課程の授業を履修

02 徹底した留学準備教育とサポート体制

留学先大学の授業レベルに対応できる学力やスキルを、留学前に修得

03 学びたい熱意に応える定員のない「給付型」留学奨学金

一人でも多くの学生が留学を実現できるよう、本学では、留学にかかる自己負担費用を大きく軽減する留学奨学金制度が充実。年間派遣学生数の約6割が、このサポートを受けて留学を実現しています。



55カ国・地域 405大学

NORTH AMERICA

- カナダ (38)
- アメリカ (188)

LATIN AMERICA

- アルゼンチン (3)
- エクアドル (3)
- コロンビア (1)
- チリ (1)
- ドミニカ共和国 (1)
- ブラジル (1)
- ペルー (1)
- メキシコ (5)

EUROPE

- アイスランド (1)
- アイルランド (1)
- イギリス (6)
- イタリア (5)
- エストニア (1)
- オーストリア (4)
- オランダ (7)
- スイス (1)
- スウェーデン (5)
- スペイン (11)
- チェコ (1)
- ドイツ (8)
- ノルウェー (3)

- ハンガリー (1)
- フィンランド (5)
- フランス (8)
- ブルガリア (1)
- ベルギー (2)
- ポーランド (2)
- ポルトガル (1)
- マルタ (1)
- ラトビア (1)
- リトアニア (1)
- ルーマニア (1)
- ロシア (1)

MIDDLE EAST & AFRICA

- イスラエル (1)
- エジプト (1)
- ケニア (1)
- トルコ (2)
- モロッコ (1)
- 南アフリカ (1)

OCEANIA

- オーストラリア (18)
- ニュージーランド (5)

ASIA

- インド (3)
- インドネシア (1)
- カンボジア (1)
- シンガポール (2)
- タイ (3)
- バングラデシュ (1)
- フィリピン (1)
- ベトナム (2)
- マレーシア (2)
- 韓国 (13)
- 台湾 (2)
- 中華人民共和国 (23)

国名の横の数字は協定大学数(2024年5月現在)



母校の今

Kansai Gaidai Now

関西外大の就職

グローバル社会で活躍する

優れた外国語運用能力をはじめ、留学や国際交流体験のなかで培われた異文化理解力やコミュニケーション力、そして専門分野の知識や幅広い教養。そんな関西外大での学びの成果を発揮して、たくさんの卒業生たちが世界を舞台に活躍しています。一人ひとりの夢の実現を支えてきたのは、関西外大ならではの1年次からのキャリアサポート。思い描いた未来へ、世界へと、自信を持って歩んでいくための心強い支援体制が整えられています。

■分野別 卒業生の就職実績 (2021年度～2023年度合計)

教育
[各都道府県小・中・高校教員]
全国
トップ
クラス
199人
※うち139人が英語教員

商社関連
667人

航空業界
400人
※うち96人が客室乗務員

ホテル業界
545人

■就職率 (2022年度) [就職率=就職者/就職希望者]



主な就職先一覧 (2018～2022年度/就職先名は入社時の名称/順不同)

大 学

[製造業]

DMG森精機/NTN/京セラ/キーエンス/ローム/村田製作所/富士通/ニデック/ニプロ/マツダ/スズキ/タカラスタンダード/コクヨ/山崎製パン/エスビー食品/ヤクルト本社/伊藤園/アサヒ飲料/ナカバヤシ/大王製紙/武田薬品工業/資生堂/サンスター/ワコール

[金融・保険・証券]

日本銀行/三井住友銀行/関西みらい銀行/南都銀行/みずほ銀行/りそな銀行/滋賀銀行/池田泉州銀行/京都銀行/紀陽銀行/京都中央信用金庫/日本郵政/みずほ証券/SMBC日興証券/大和証券グループ本社/野村證券/ゴールドマン・サックス・ジャパン・リミテッド/三菱UFJモルガン・スタンレー証券/みずほフィナンシャルグループ/日本生命保険/住友生命保険/東京海上日動火災保険

[サービス業]

帝国ホテル/ロイヤルホテル/ニュー・オータニ/星野リゾート/ホテル日航大阪/近鉄・都ホテルズ/ホテル京阪/森トラスト・ホテルズ&リゾーツ/JTB/日本旅行/KNT-CTホールディングス/エイチ・アイ・エス/阪急交通社/ユー・エス・ジェイ/オリエンタルランド/ワタベウェディング/日本マクドナルド/スターバックスコーヒー・ジャパン/ダスキン/あずさ監査法人/トーマツ/アクセンチュア/国際交流基金/青年海外協力協会

[商業]

岩谷産業/GSユアサ/因幡電機産業/リョーサン/コニカミノルタジャパン/Apple Japan/P&Gジャパン/ルイ・ヴィトンジャパン/ファーストリテイリング/アシックスジャパン/ミズノ/紀/國屋/良品計画/ユニクロ/三越伊勢丹/阪急阪神百貨店/セブン-イレブン・ジャパン/ニトリ/東急ハンズ

[運輸・倉庫]

西日本旅客鉄道(JR西日本)/近畿日本鉄道/京阪電気鉄道/阪急電鉄/大阪市高速電気軌道/日本貨物鉄道/日本航空/全日本空輸/ANAウイングス/ジェイエア/Peach Aviation/シンガポール航空/国営カタル航空/JALスカイ/JALスカイ大阪/ANA中部空港/ANA大阪空港/日本通運/西濃運輸/近鉄エクスプレス/日本郵便

[電力・情報・通信業]

朝日放送グループホールディングス/沖縄テレビ放送/福岡放送/静岡朝日テレビ/関西電力/ソフトバンク/JCOM/カブコン/アマゾンジャパン/リクルート/マイナビ/静岡新聞社/新日本海新聞社/講談社

[建設・不動産]

竹中工務店/住友林業/一条工務店/大和ハウス工業/積水ハウス/三井ホーム/熊谷組/きんでん/三菱地所/近鉄不動産/長谷工リアルエステート/イオンモール/ダイワロイアル/阪急阪神ビルマネジメント/JR西日本SC開発/学生情報センター

[医療・福祉・教育]

ECC/NOVA/大阪YMCA/ベルリッツ・ジャパン/ベネッセコーポレーション/浜学園/日本年金機構/国立病院機構/日本赤十字社/教員(小学校・中学校・高校など)

[公務・その他]

自衛隊(陸上・海上・航空)/警察官(警視庁・神奈川県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県など)/職員(東京都・三重県・京都府・大阪府・岡山県・福岡県など)/大阪国税局

短期大学部

[製造業]

京セラ/NTN/パナソニックホールディングス/タカラスタンダード/デサントジャパン/東洋紡/ワールド/ラルフローレン/ラコステジャパン/ユニチカ/ワコール/たねや/小川珈琲

[金融・保険・証券]

紀陽銀行/大阪シティ信用金庫/岩井コスモ証券/岡三証券/住友生命保険/明治安田生命保険/第一生命保険/グリーン大阪農業協同組合

[サービス業]

ロイヤルホテル/ニュー・オータニ/ホテルグランヴィア大阪/近鉄・都ホテルズ/西村屋/リゾートトラスト/阪急阪神ホテルズ/ジェイアール西日本ホテル開発/京都ホテル/オリックス・ホテルマネジメント/ホテルニューアワジ/東急ホテルズ/日本旅行/日本マクドナルド/スターバックスコーヒー・ジャパン/ファーストリテイリング/クボタ機械設計/ユー・エス・ジェイ/オリエンタルランド

[商業]

江綿/タベストリー・ジャパン/オンワード樫山/コーセー化粧品販売/資生堂ジャパン/ウォルト・ディズニー・ジャパン/コストコホールセールジャパン/平和堂/高島屋/ライフコーポレーション/エービーシー・マート/タカキュー/ダイアナ/パル/ユニクロ/セブン-イレブン・ジャパン/ANAケータリングサービス/ロック・フィールド/トヨタカラー新大阪/城山ホールディングス/愛眼

[運輸・倉庫]

ANAウイングス/ANA大阪空港/ANAエアポートサービス/ジェットスター・ジャパン/Kスカイ/関空エンタープライズ/日本通運/ヤマト運輸/佐川急便/両備ホールディングス/近鉄エクスプレス/上組/日本郵便

[電力・情報・通信業]

近鉄ケーブルネットワーク/ソフトバンク/ACN/兼松コミュニケーションズ/トランス・コスモス

[建設・不動産]

積水ハウス不動産関西/JR西日本京都SC開発/ダイワロイアル

[医療・福祉・教育]

NOVA/アミティー/イーオン/ABC Cooking Studio/徳洲会/スパー・コート/中学校教員(京都府・和歌山県)

[公務・その他]

自衛官(海上・陸上)/職員(大阪府・京都府・和歌山県など)

受験生からの
評価ランキング
[ブランド力]

国際的な
センスが身に付く
[関西エリア]

1位

リクルート「進学ブランド力調査2023」

留学生の支援に
取り組む大学

近畿の
私大で

1位 [全体
7位]

日経HR「日経キャリアマガジン特別編集
価値ある大学 就職力ランキング2024-2025」

海外留学制度
ランキング
[留学生派遣]

1位

総数(16単位以上取得)
朝日新聞出版「大学ランキング2022年版」

編入学ランキング
[編入学2、3年次]

1位

朝日新聞出版「大学ランキング2025年版」

圧倒的な
海外ネットワーク
(2024年5月現在)

55 405 大学
力国地域

★ ★ ★

KANSAI GAIDAI

By the Numbers

数字で見る関西外大

留学生派遣人数
(2023年度に海外留学を
実現した学生の総数)

約1,200人

グローバル教育に
取り組む大学

近畿の
大学で

1位 [全体
2位]

日経HR「日経キャリアマガジン特別編集
価値ある大学 就職力ランキング2024-2025」

キャビンアテンダント
採用ランキング

[キャビンアテンダント採用 採用者(2023年)]

1位

朝日新聞出版「大学ランキング2025年版」

外国人留学生
(2023年度 年間受入数)

約900人

外国人教員数
(2024年5月現在)

167人

2024
年度

Club & Circles

体育系、文化系、独立団体などバラエティ豊かなクラブとサークルは、外国語大学だけに語学系クラブも充実。
また、全国大会に出場して活躍する学生も多く、優秀な成績を収めています。

体育会クラブ

●アーチェリー部 ●アメリカンフットボール部LINX ●空手道部 ●関西外大心身統一合気道部 ●剣道部 ●硬式庭球部 ●硬式野球部
●サッカー部 ●柔道部 ●少林寺拳法部 ●女子駅伝部 ●水上競技部 ●セバタクロー部 ●ソフトテニス部 ●卓球部 ●チアリーダー部
PYRATES ●軟式野球部 ●日本拳法部 ●バスケットボール部 ●バドミントン部 ●バレーボール部 ●ハンドボール部 ●ボクシング部 ●女子
ラクロス部 ●ラグビー部 ●陸上競技部 ●ワンダーフォーゲル部 ●フィギュアスケートサークル(体育会公認サークル)

文化会クラブ

●アウトドア部 ●映画研究部 ●英語研究会(E.S.S.) ●MJA部(Music Joyful Association) ●演劇部「劇団しん」 ●華道部 ●ギター部 ●競
技ダンス部 ●軽音楽部 ●国際事情研究部 ●I.F.C.国際親善部 ●混声合唱団 ラベリテ ●茶道部「ぜんしん会」 ●写真部 ●JAZZ研究会
BEATs ●出版文芸部(C.P.C.) ●書道部「墨友會」 ●スペイン語会話部 ●箏曲部 ●ダンス部NODcrew ●通訳ガイドクラブ(I.G.C.) ●ドイ
ツ語研究会 ●美術部 FAC ●ボランティア団体ひまわり ●ボランティア団体 枚方レオクラブ ●フラダンス部 Puamelia ●フラメンコ部 Anda
Jaleo ●マンドリン部

体育系・文化系 サークル

●関西外大スピリッツ(テニス) ●Gather Point(総合球技) ●サンパティック(バドミントン) ●Copain(ソフトテニス) ●ソフトボールサー
クル "macchu" ●TRAP×TRAP(バレーボール) ●中宮ウッドベッカーズ(野球) ●OSTRICH(バスケットボール) ●BATS(バスケット
ボール) ●Ballspielen(サッカー) ●MAXIMUM(バスケットボール) ●わくわくバレーボール ●Bêe Top(アルティメット) ●Sound
Creation(音楽) ●キャバークラブ(音楽) ●Body2(ダンス) ●Mr.PORORO(韓国語) ●MUSIC MIND(音楽) ●Il sole Italiano
(イタリア語) ●Vox Chord(アカペラ) ●Magpie(競技かるた) ●WiZ Habitat(ボランティア) ●新日本文化研究会(世界の平和・社
会問題) ●倶楽部はなしちゃん

独立団体

●FBS放送局 ●関西外国語大学吹奏楽部

2024年5月1日時点(休部クラブを含む)

KGU TOPICS

2023
2024

2023
7/7

第1・第2グラウンド人工芝完成

第2グラウンド(約9500平方メートル)は4月に完成。第1グラウンド(1万2000平方メートル)も工事が完了し、テープカットが行われました。谷本理事長は「文武両道での活躍を期待しています」と挨拶し、学生代表と共にテープカットを行いました。サッカー部とラグビー部の記念キックオフで歓声が上がりました。

鮮やかな緑の人工芝の上でテープカットしました



2023
6/24

「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト日本予選で2位に



中国民族舞踊を披露する佐野さん

「第4回全日本大学生中国語スピーチコンテスト」兼「第22回『漢語橋』世界大学生中国語コンテスト日本予選」が6月24日、東京の慶應義塾大学で開催され、英語国際学部4年の佐野いつみさんが「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト日本予選で2位に入賞しました。

2024
1/21

日本ボッチャ選手権で銅メダルに輝きました

外国語学部英米語学科2年の酒井菜悠さんが1月に東京で開かれた日本ボッチャ選手権大会のBC1女子で銅メダルに輝きました。初めて進出した決勝トーナメント戦での快挙で「競技中はリラックスしていたのですが、憧れだった選手と同じ表彰台に上がったときはとても緊張しました」と喜びを語りました。

日本選手権で力強い攻撃を見せる酒井さん
©Osada Tomoko



「表彰台では緊張しました」と話す酒井さん

2023
11/25.26

チアリーダー部パイレーツが全日本学生選手権で5位に輝きました

「第35回全日本学生チアリーディング選手権大会」は11月25日、26日に群馬県の高崎アリーナで開催されました。チアリーダー部パイレーツは自由演技競技Division1の競技部門で5位を獲得し、Division2では目標の「やりきる演技」をノーミスで達成しました。全国からDivision1には47チームが、Division2には25チームが参加し、高いレベルの演技が繰り広げられました。

ノーミスの演技でした



2023
10/7.8

少林寺拳法部が世界大会で2位

「少林寺拳法世界大会」が東京の日本武道館で行われ、少林寺拳法部の重里海斗(英米語学科3年)・三笠七海(同)組が女子護身技法有段の部で2位を獲得しました。また、同部OBOGの山本瀬菜・笹川理菜組が一般女子三段以上の部で1位、竹井祐二・築地飛武組が一般男子四段以上の部で4位となりました。

世界2位を飾った重里拳士(右)と三笠拳士(左)

(左から)山本瀬菜拳士、竹井祐二拳士、築地飛武拳士、笹川理菜拳士



2023
11/26

全日本学生フルコンタクト空手道選手権で優勝を飾りました

「第2回全日本学生フルコンタクト空手道選手権大会」が11月26日に国立代々木競技場で開催され、外国語学部英米語学科2年の土橋立弥さんが1部男子重量級で優勝しました。重量級には全国から18人が参加し、土橋さんは再延長戦の末に優勝を果たしました。フルコンタクト空手道は国内20万人、世界2000万人が取り組んでいるといわれ、4年に1度世界大会が開催されます。



優勝トロフィーを手にする土橋さん

練習には中国武術やフィジカルトレーニングなどを取り入れています



2024
3/9

2023年度学位記授与式で2955人卒業

2023年度の学位記授与式が3月9日、中宮キャンパスの谷本記念講堂で開催され、大学院、大学3学部、短期大学部の2955人が卒業しました。大庭学長は「逆境を乗り越えてきた皆さんの強い意志を讃えます」と賛辞を送り、失敗を恐れず挑戦することの大切さを伝えました。短期大学部谷本学長も「情報の真偽が問われる時代に、正直さと多様性の尊重が重要」と述べ、卒業生たちにはなむけの言葉を送りました。

2024
5/11

米国・モーニングサイド大学から名誉博士号が授与されました

谷本和子短期大学部学長に米国・モーニングサイド大学から名誉博士号が授与されました。モーニングサイド大学は「谷本学長の長年にわたる国際交流の実績とグローバル人材育成に向けた教育の実践」を高く評価して名誉博士号を授与しました。



2024
4/5

新学科がスタート、春学期の授業開始

2024年度春学期の授業が4月5日に開始。新設の「国際日本学科」と「未来キャリア英語学科」も新入生を迎え、第一歩を踏み出しました。



山口准教授の授業に臨む新入生たち

2024
2/17.18

セパタクロー部女子レグ優勝、河場選手がMVP

セパタクロー部の女子レグが「JOCジュニアオリンピックカップ第23回全日本セパタクロージュニア選手権大会」で優勝。河場なずな選手が最優秀選手賞を獲得し、男子レグも3位に輝きました。



優勝を飾った(前列左から)赤羽選手、河場選手、小山選手。3位に輝いた(後列左から)大西選手、奥野選手、吉留選手、長濱選手。



2024
4/2

入学式で3444人が外大生に仲間入り

2024年度の入学式が4月2日に谷本記念講堂で開催され、3444人が入学しました。大学院と4学部の新入生2852人には大庭学長が、短期大学部の新入生592人には谷本学長がそれぞれ入学を許可し、告辞を述べました。大庭学長は目標を持ち主体的に学ぶこと、谷本学長は積極的に挑戦する姿勢を強調。谷本理事長も大学の意義を説き、新入生にエールを送りました。



KGU NEWS

<https://www.kansaiigaidai.ac.jp/news/>

Check!



2024年度 Homecoming Day

ホームカミングデー 同窓会総会

2024年10月26日 土 外大祭同時開催

講演者プロフィール

ダルビッシュ郁代氏

大阪生まれ。関西外国語大学外国語学部
英米語学科1981年3月卒。在学2年次に
アメリカ フロリダ州エッカード大学へ交換留
学生として1年間留学。卒業後、英語指導
に携わる。MLB サンディエゴ パドレス ダルビッシュ有投手ら3児
の母親。NPO法人ウィンウィン代表理事。9年前から息子達の生まれ
育った大阪府羽曳野市に基盤を置き、英語を通して様々な文化を
持つ人々の受け入れを促したいとの思いで活動している。
(NPO法人ウィンウィンは東京都杉並区高円寺でも活動しています。)



場所

関西外国語大学 中宮キャンパス

(京阪電車 枚方市駅下車 北口3番、4番乗り場より約8分)

当日のスケジュール

※不測の事態により、スケジュールや内容に変更が生じる場合があります。
その際には、ホームページその他で告知いたしますのでご確認ください。

第1部 11:00 ~ 11:25 **総会**
11:25 ~ 11:30 **母校の現状報告**

第2部 11:40 ~ 12:30 **講演会**
ダルビッシュ郁代氏
「関西外大との出会いとその後」
(第1部・2部の会場:中宮キャンパス マルチメディアホール)

第3部 12:40 ~ 15:00 **懇親会**
(会場:中宮キャンパス 厚生南館)
● 懇親会場では、軽食・お飲物をご用意しています。
● 懇親会参加費:お一人3,000円(中学生以下は無料)
(昨今の物価高騰のためご理解・ご協力をお願いします。)

お申込みはこちら/



ホームカミングデーにご参加の方は
左のQRコードまたは**同封のハガキを返送**してください。
同窓会の**ホームページ**
eメール: info@kansaigaidai-dousou.jpでも**申込可能**です。

関西外国語大学・短期大学部同窓会 活動支援寄付金のお願い

関西外国語大学・短期大学部同窓会では、皆様からのご寄付を募っています。

同窓会の活動資金は大学卒業時に徴収している同窓会費(終身で1万円)が唯一の収入源となっており、その中から会報誌の制作・発送費、本部・支部総会に係る費用、在学生への支援などに使われています。しかしながら、収入額がほぼ固定(卒業生数が、ほぼ一定)されているのに対して、支出については会員数の増加および支部の増加等に伴う活動費が年々増大し、近い将来、資金不足が生じることが予想されます。

このような状況を踏まえ、この度同窓生の皆様からのご寄付を募ることとしました。皆様からのご寄付により、今後も同窓会を安定的に運営し、皆様のご期待にお応えしたいと考えております。

同窓生の皆様のご理解とご支援のほど、よろしくお願いいたします。

募集内容 1口 3,000円 以上

寄付金の使途 会報誌の制作・発送費、本部・支部総会に係る費用、ホームページの維持・管理費、名簿管理費、在学生への奨学金・課外活動等支援奨励金

寄付方法 銀行振込(下記口座) ※手数料は自己負担でお願いします。

三井住友銀行 枚方支店 (普) 4967505

関西外大同窓会寄付金口 会長 藤木英幸(カンサイガイダイドウソウカイキフキングチカイチョウフジキヒデユキ)

※ご依頼人氏名(フルネーム)の後に会員NO.を入力してください(例:y123456)。会員NO.は送付した封筒シール右下のx、y、zから始まる番号です。封筒の紛失等会員番号が分からない場合は、入力していただく必要はございません。

その他 税法上の寄付金控除の対象とはなりませんので、ご了承ください。

お問い合わせ先

関西外国語大学・短期大学部同窓会

〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町16-1 ICC4階 6410室
TEL:072-805-0140(直通) FAX:072-805-2812
info@kansaigaidai-dousou.jp

【開室時間】10:00~16:00(月曜日~金曜日)

※土曜、日曜、祝日、大学休業日は閉室。

メールアドレス登録・
変更登録のお願い

登録されたメールアドレス宛てに同窓会などの最新情報を配信しています。
会員登録済みでメールアドレスが未登録またはアドレスを変更された方は登録内容変更
フォームよりメールアドレスの登録、変更登録をお願いします。
また住所、氏名などの変更も同窓会のホームページから変更登録をお願いします。

Alumni

関西外国語大学・短期大学部同窓会誌

関西外国語大学・短期大学部同窓会誌 第14号 2024年10月1日発行

関西外国語大学・短期大学部同窓会 〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町16-1
Tel. 072-805-0140 Fax. 072-805-2812

<http://www.kansaigaidai-dousou.jp/>